

令和5年度 芸術科「音楽表現」シラバス

単位数	2単位	学科・学年・学級	情報処理科3年D組(選択6)
教科書	MOUSA II (教育芸術社)	副教材等	なし

1 学習の到達目標

音楽の幅広い活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育てると共に感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、音楽文化についての理解を深める。

2 重点目標

ミュージカルを作り上げる課程で、音楽の歴史・ミュージカルの成り立ちに触れ、歌、踊り、演奏を通じて自分を見つめ、表現することを目標とする。また、歩き方等の立ち居振る舞いを意識し、常に他人からどのように見られるのかを考える。

3 学習の計画

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
4	ミュージカル	ミュージカルとは	ミュージカルの成り立ちを知る。	ワークシート
	鑑賞	サウンドオブミュージック	楽曲の背景を知り、アリア・レチタティボの要素に関心を持つ。	感想文提出
	歌唱	ドレミアンコーラル	発声を学び、美しい声を出し楽曲にふさわしい曲想を考える。	発声の仕方・取り組む姿勢
	ダンス 創作	ウォーキング ストーリー決め	良い姿勢での歩き方を知り、立ち居振る舞いに気をつける。 自分の芸名や、どの様なストーリー作りをするかを考える。	取り組む姿勢 ワークシート
5	歌唱	朝の風景	美女と野獣の楽曲を使い、曲の作り方や美しさに関心を寄せセリフを言うタイミングをつかむ。	曲想に注意し、羞恥心からの脱却を目指す
		ア・ホールニューワールド	アラジンのストーリーを考えながら、主人公の気持ちになって歌う	ワークシート
6	楽典	読譜について	音楽理論の復習をワークシートにより行う。	
		中間考査	授業時間内で行う	
7	歌唱・鑑賞	Let it go	曲の背景や、どの様なタイミングで使われるかを認識し、表現する。	発声・取り組む姿勢 曲想の創造性
	ダンス 創作 声出し	ウォーキング ステップ ストーリー作り セリフの発声	美しい歩き方をマスターし、ステップに応用する。 ストーリー制作の開始(アンケートによる)。 楽曲を歌う時との違いを学ぶ。	取り組む姿勢・美しさ ワークシート 取り組む姿勢
	歌唱・鑑賞 創作	とびら開けて 台本制作	歌唱とセリフの兼ね合いや、音程・ハーモニー・曲想に気を配る。 文化祭に向けた具体的な台本作りに取り組む。	主体的に関わろうとする姿勢 ワークシート
		期末考査	授業時間内で行う	
9 10	創作	配役 作曲・振り付け	台本の読み合わせ後、配役を決め、ストーリーに沿った曲作り 振り付けを考える。	自他の人物像を見極め、主体的に行動する ワークシート
	歌唱 ダンス	創作曲の練習 振り付け	音程やハーモニー、曲想に注意してストーリー内容を表現する。 創作曲、挿入曲に応じて、オリジナルの振り付けを考え、踊る。	取り組む姿勢
	伴奏	ギター・ピアノ ドラム	劇の内容を効果的に表現するための伴奏を考え、練習する。	役割を認識し取り組む姿勢
	舞台稽古	舞台上での表現	創作したミュージカルを自分なりに感じ取り、表現する。	役割を認識し取り組む姿勢
		中間考査	授業時間内で行う	

11	文化祭	発表	学んで来た様々なものを文化祭という場で総合的に表現する。 (コロナ禍で文化祭が中止、または舞台(体育館)が使用できない場合は、音楽室で行う。)	役割を積極的に引き受け自己の責任を目指して行う 仲間の評価をする 曲想をつかみ表現する
12	歌唱	Memory	ミュージカル体験前後で、歌唱することの変化、違いを感じる。	
		期末考査	授業時間内で行う	
1	日本音楽 鑑賞 歌舞伎	さくらさくら 京鹿子娘道成寺	日本音楽概論を学び、三味線・箏の歴史に触れ和楽器の構造を理解しさくらさくらを演奏する。 ミュージカルと日本の舞台物である歌舞伎を比較し、外国と自国との音楽の違いを感じる。	取り組む姿勢 感想文提出
		学年末考査	授業時間内で行う	

4 評価の観点

関心・意欲・態度	ミュージカル活動の喜びを味わい、音楽や音楽文化に関心を持ち、主体的に音楽表現や鑑賞の学習に取り組もうとする。
思考・判断・表現	音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、音楽表現を工夫し表現意図を持っている。
技能	創意工夫を生かした音楽表現をするための技能を身に付け、創造的に表している。
鑑賞	ミュージカルの背景を理解し、曲想や旋律を感受し、その良さや美しさを創造的に味わっている。

5 評価の方法

音楽への関心・意欲・態度、思考・判断・表現、技能及び鑑賞の能力の4観点から総合的に評価する。

6 担当者からのメッセージ(確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など)

「人前で表現する」ということは恥ずかしさを感じる事ですが、まず羞恥心を捨て、技能を磨き、表現する事に少しでも満足感や達成感を感じてもらえたらいいなと思っています。